



日本ブラインドマラソン協会

# JBMA 会報

発行所

特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番8号 本郷朝風ビル5F

ホームページ: <https://www.jbma.or.jp/>TEL/FAX: 03-3814-3229 E-mail: [info@jbma.or.jp](mailto:info@jbma.or.jp)

発行責任者: 澤木 啓祐 / 編集責任: 事務局

## 新年明けましておめでとうございます

### 協会創立40周年を記念して感謝の集いを開催しました

#### 会長挨拶

会報『絆』第149号の発行に当たりご挨拶を申し上げます。

会員の皆さまには健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、協会創立40周年の節目の年となりました。大阪長居での全国視覚障がい者駅伝大会、東京国立競技場でのJBMAユニファイドランの主催大会を開催し、パリ2024パラリンピックへ向けた強化活動も継続して実施しています。また、協会発足の原点に戻って重点的に取り組んだ研修事業では、全国8都県で伴走者養成研修会を実施しました。いずれも、「ブラインドマラソンを通してノーマイゼーション社会の実現を目指す」とする協会目的の達成に有意義な事業となりました。これらの事業実施にあたっては、多くの関係者、ボランティアの皆さま、協賛企業・団体の皆さまのご尽力があったことを忘れてはなりません。

また、ユニファイドラン当日に開催した「創立40周年感謝の集い」には、協会初代理事長の河野洋平様はじめ、多くの会員、関係者の皆さまにお集まりいただくことができました。ブラインドランナー、伴走者、スタッフ、協賛企業・団体の皆さまおよび、40年をお支えいただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

今後私たちは、ブラインドマラソン普及・発展への取り組みを継続し、ノーマイゼーション社会の実現に向けた努力を途切れさせないようにしなければなりません。

本年も、協会活動への変わらぬご指導ご鞭撻をお願いするとともに、皆さまにとつて安全で安心な年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。



羽毛田会長

#### 協会創立40周年感謝の集い

羽毛田会長挨拶の後、初代理事長の河野洋平様と報知新聞社代表取締役社長依田裕彦様よりご祝辞を頂戴し、(株)明治グローバルデイリー事業本部長樋口靖夫様による乾杯の音頭により、祝宴が幕を開けました。

宴では、協会活動に古くからご協力いただいた宇佐美彰朗様をはじめ、関東学生陸上競技連盟日隈広至副会長、安田享平強化委員長、鈴木邦雄参与、鈴木雅丈参与他の皆さんより、強化活動や伴走活動・協会活動の想い出が披露されました。会場には、協会を支えて下さった企業・団体の皆様をはじめ、ユニファイドランに参加した方、はるばる遠方から駆けつけてくださった会員の姿もあり、会場のあちらこちらで昔話に花が咲いていました。和やかな雰囲気が進んだ集いは、名残惜しい中、澤木啓祐理事長の謝辞により会を終えました。

最後に河野洋平初代理事長のご祝辞の一部をご紹介します。

「走る人、伴走する人、そして様々な形で支えて下さる多くの支援者の方々がいなければ協会はうまくいかなかっただろうと思います。杉本さん(注:初代会長)のまいた種が見事に育ち、今やパラリンピックをはじめとしたさまざまな大会で(日本選手が)世界トップレベルの力を見せるようになってきました。これからも関係者の皆さまの一層のご協力とランナーの皆様のご頑張りによって、日本のブラインドマラソンをさらに継続し、育て上げていっていただきたい」(以上、抜粋)



懇談の様子



河野洋平初代理事長

主催行事報告

OSAKA EKIDEN in 長居 兼 第26回全国視覚障がい者駅伝大会

スポーツ振興くじ助成事業

2023年10月29日、「OSAKA EKIDEN in 長居 兼 第26回全国視覚障がい者駅伝大会」が、大阪のヤンマースタジアム長居及び長居公園周囲コースを舞台に、大阪陸上競技協会主管の下開催されました。

大会には45チームがエントリー、ゲストランナーに中山竹通さん、柳川春己さん、高橋勇市さん、道下美里さん、堀越信司さん、和田伸也さんが駆けつけてくださり大会に華を添えて下さいました。

開会式では、地元長居わいわいずの大賀姫那（おおがひな）さんとガイドランナーの大井雅美（おおいまさみ）さんによる宣誓が行われ、大会特別協賛の「ヤマダホールディングス」陸上競技部田中宏昌（たなかひろまさ）監督のピストルの合図により、レースがスタートしました。レースは好天に恵まれ、チームのために懸命にタスキをつなぐ姿が印象的な大会となりました。

視覚障がいの部では、大会3連覇中のコーベパール（兵庫）を数久ランナーズ（東京）が8秒差で退け、杉本杯を獲得しました。

また、盲学校の部では初参加の岐阜県立盲学校が3チームによる大接戦を制し優勝しました。

大会を支えて下さった「わいわいず」の皆様他ボランティアの方々のご支援に感謝申し上げます。



周回コースを快走



タスキ渡し

「神宮外苑チャレンジフェスティバル第41回J BMAユニファイドラン」が、2023年11月26日（日）国立競技場にて開催されました。神宮外苑再開発に伴う工事の影響で、国立競技場トラックとリングロードを使用した特設コースでの実施となりました。報知新聞社の共催をいただき、主管の関東学生陸上競技連盟を中心に、たくさんボランティアに支えていただく大会運営となりました。

神宮外苑チャレンジフェスティバル 第41回J BMAユニファイドラン

スポーツ振興くじ助成事業

区間賞（視覚障がいの部）

Table with 4 columns: 区間 / 氏名 (伴走者) / チーム名 / 記録 / 順位 / チーム名 / 記録



一斉にスタート

視覚障がいの部

Table with 2 columns: 順位 / チーム名 / 記録

盲学校の部

Table with 2 columns: 順位 / チーム名 / 記録

視覚障がい者の部 成績上位者一覧

順位 / 記録 / 氏名 / 都道府県 / 伴走者

5km 視覚障がいの部 男子 49 歳以下伴走あり

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 都道府県, 伴走者

5km 視覚障がいの部 女子 49 歳以下伴走あり

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 都道府県, 伴走者

5km 視覚障がいの部 男子 50 歳以上伴走あり

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 都道府県, 伴走者

5km 視覚障がいの部 女子 50 歳以上伴走あり

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 都道府県, 伴走者

5km 視覚障がいの部 男子 49 歳以下伴走なし

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 都道府県, 伴走者

5km 視覚障がいの部 女子 50 歳以上伴走なし

Table with 5 columns: 順位, 記録, 氏名, 都道府県, 伴走者

視覚障がい者99名、知的障がい者39名のランナーに伴走者、一般ランナーを加え、総勢705名が5kmと10kmのレースにエントリーしました。今回は、家族や応援者の入場が可能となり、国立競技場のあちらこちらで記念撮影をする姿が見られました。お馴染みの中山竹通さん、柳川春己さんペアをはじめ、高橋勇市さん（アテネパラ金メダリスト）、山口通さん（北海道マラソン2022優勝）が大会に華を添えて下さいました。大会開催にあたり、特別協賛企業としてご支援いただいた株式会社明治様、株式会社新昭和様はじめ、多くの企業・団体の皆さまに感謝を申し上げます、大会の報告といたします。



国立競技場を満喫



笑顔でフィニッシュ

10km 視覚障がい部 男子 49歳以下伴走あり

- 1位 34:04 山元 龍生 福岡県(上村 純也)
- 2位 39:50 村上 拓也 神奈川県(阿部 拓也)
- 3位 40:00 加治佐 博昭 栃木県(石川 裕久)

10km 視覚障がい部 男子 50歳以上伴走あり

- 1位 38:31 池永 敦 東京都(佐藤 泰紀)
- 2位 44:52 大岡 義博 東京都(湯川 浩)
- 3位 47:24 菊島 昌保 東京都(宮崎 徹)

10km 視覚障がい部 男子 49歳以下伴走なし

- 1位 54:59 樺山 大輔 岐阜県

10km 視覚障がい部 男子 50歳以上伴走なし

- 1位 41:52 南 宙史 福島県
- 2位 46:43 前田 幸正 千葉県
- 3位 59:20 伊藤 博正 茨城県

10km 視覚障がい部 女子 49歳以下伴走あり

- 1位 49:55 小野 沙織 東京都(濱田 耕司)
- 2位 1:07:34 滝澤 千佳子 長野県(滝澤 宏之)
- 3位 1:13:05 秋元 美宙 埼玉県(西山 文子)

10km 視覚障がい部 女子 50歳以上伴走あり

- 1位 54:46 鈴木 慶子 神奈川県(石田 賢一)
- 2位 54:56 山口 久美子 北海道(相田 佳隆)
- 3位 59:17 金谷 節子 群馬県(栗田 寿美)

10km 視覚障がい部 女子 50歳以上伴走なし

- 1位 55:26 又吉 風歌 埼玉県
- 2位 59:25 柴原 里美 東京都



スタート!

大会報告

第54回防府読売マラソン大会 兼 第24回日本視覚障がい女子マラソン選手権大会

12月3日、女子の視覚障がいマラソン日本選手権大会を兼ねた「第54回防府読売マラソン」が山口県防府市にて開催されました。昨年まではコロナ禍の影響により、制限されていた沿道からの応援が解禁され、防府市民や選手の支援者、所属先の方々を中心に多くの声援を受けての大会となりました。

女子は、東京パラリンピックチャンピオンの道下美里選手(三井住友海上)が故障のため欠場。前半から混戦模様で5名の選手が争いました。30km地点では先頭の和木茉奈海選手(JBMA)から、4番手の近藤寛子(滋賀陸協)選手まで、2分余りの間に4選手がひしめく、大混戦。誰が勝つのか分からない展開となりました。勝負は、前半ペースを抑えていた近藤選手が後半に向けてペースアップ。40km手前で和木選手を抜き去り、フィニッシュタイム3時間16分56秒で、自身初の日本選手権者となりました。和木選手は粘りの走りをみせ、自己ベストを約4分更新して2位。長引く故障のため2年振りのマラソンとなった、金野由美子選手が復活の3位となりました。

男子も記録を狙って積極的にチャレンジするレースとなりました。中間地点はT12クラスで単独走となる、堀越信司選手(NTT西日本)、熊谷豊選手(三井ダイレクト損保)、高井俊治選手(NTT DOCOMO)の順番で通過していきます。しかし、熊谷選手は低体温

症状に見舞われ、30km過ぎに途中棄権。勝負は堀越選手と高井選手の2名に絞られました。前半は2時間25分切りを狙えるタイムで推移していた堀越選手が次第にペースダウン。高井選手もペースを落としながらも、40km過ぎに堀越選手を逆転。そのまま、2時間29分25秒の自己新記録で優勝。堀越選手も粘り、高井選手から18秒遅れでフィニッシュしました。



女子優勝の近藤選手

3位には若手の大石航翼選手(JBMA)が自己記録を10分以上縮める大健闘の走りを見せました。パリ2024パラリンピックに向けては、参加枠の獲得を目指して争うはずだった「WPAマラソン世界選手権」が開催されないことが決定しました。参加枠の配分は世界ランキングやHIGH Performance Standardと言われる、参加標準記録の突破者数など、いくつかの条件を元に配分されることとなります。

パリへのチャレンジは、2月4日に開催される第72回防府大分毎日マラソン兼第24回日本視覚障がい男子マラソン選手権大会へと続いていきます。

大会結果

順位 / 氏名 / 記録 /

男子

- 1位 高井 俊治 2:29:25 PB
- 2位 堀越 信司 2:29:43
- 3位 大石 航翼 2:47:43

女子

- 1位 近藤 寛子 3:16:56 PB
- 2位 和木 茉奈海 3:17:28
- 3位 金野 由美子 3:20:58



一斉にスタートする選手

第31回福知山マラソン大会

11月23日の勤労感謝の日に開催されることでお馴染みの福知山マラソンが、今年も晩秋の京都府福知山市にて16名のブラインドランナーが参加して開催されました。

今年は、選手の後押しとして、エイドステーションが充実されました。特に15km地点ではスイーツ、25km地点では焼き肉と、地元『食』を利用したエイドステーションが設置され、ランナーから好評を得ていました。

大会結果

順位 / 氏名 / 記録 /

男子

- 1位 飯野 盛男 3:14:48
- 2位 小林 浩二 3:30:57
- 3位 大久保 孝之 4:00:23

女子

- 1位 円尾 敦子 4:15:29
- 2位 大坪 幸子 4:48:44
- 3位 藤原 由子 5:07:03

# 研修会報告

## 「ランモード群馬 伴走・伴歩講習会」

(群馬県高崎市)

2023年10月22日(日)にランモード群馬主催の講習会が行われました。協会より参与の鈴木邦雄さんが講師として参加しました。

ランモード群馬は、発足して20年を超える歴史あるブラインドマラソンサークルです。会場となった高崎市立新町中学校体育館には、視覚障がい者17名を含む65名の参加者が集まりました。

講習会は、ランモード群馬のスタッフの皆さまが早朝から会場準備や受講者の誘導・受付等に当たっていただき、大変スムーズに進行しました。体育館での理論講習の後、広い校庭に出ての実技は、好天に恵まれ「アイマスキ体験」やブラインドランナーの協力による「伴走実技」などに心地よい汗を流していました。講習には、地元だけでなく茨城県、栃木県、埼玉県、東京都からの参加もありました。また、地元ランニングサークルの「上州アスリートクラブ」から白水代表をはじめ、アテネオリンピック日本代表の諏訪利成氏も駆けつけてくださいました。



お疲れさまでした

## 今後の伴走研修会予定

### 第2回東京研修会

日時：2024年2月12日(月・祝)  
会場：全国障害者総合福祉センター 戸山サンライズ  
主催：日本ブラインドマラソン協会  
協賛：公益財団法人山田昇記念財団  
お問い合わせ：日本ブラインドマラソン協会  
※詳細は、協会ホームページをご覧ください。

## 綾瀬市ガイドランナー講習会

日時：2024年2月17日(土)  
会場：綾瀬市スポーツセンター大体育室(神奈川県綾瀬市)  
主催：綾瀬市社会福祉協議会  
共催：日本ブラインドマラソン協会他  
協賛：公益財団法人山田昇記念財団  
お問い合わせ：綾瀬市社会福祉協議会  
綾瀬ボランティアセンター 0467-7718166

## 今後の行事予定

### 第72回別府大分毎日マラソン大会 兼

### 第24回日本視覚障がい男子マラソン選手権

開催日：2024年2月4日(日)  
会場：別府大分毎日マラソン大会コース(大分県)  
詳細は、大会ホームページをご覧ください。  
<https://www.beisudai.com/>

### 第13回日産ふれあいロードレース

開催日：2024年3月3日(日)  
会場：日産自動車株式会社 テクニカルセンター構内  
(神奈川県厚木市岡津古久560-2)  
詳細は、大会ホームページをご覧ください。  
<https://www.nissan-global.com/JP/SUSTAINABILITY/SOCIAL/CITIZENSHIP/ROADRACE/>

## 2024年主要行事予定

2024年度の事業計画は理事会での承認を待ちますが、例年に倣い主要事業の日程案をご紹介します。皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

4月21日 かすみがうらマラソン2024  
6月8日・9日 日本パラ陸上競技選手権大会(三重県伊勢市)  
6月予定 定例総会・理事会  
7月予定 第1回東京伴走者研修会

## 編集後記

新年早々に起こった「能登半島地震」、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

協会創立40周年を記念して開催した「感謝の集い」では、懐かしいお顔をたくさん拝見することができました。視覚障がい者が当たり前に大会参加できる現在のブラインドマラソン環境は、40年前から考えると隔世の感があります。

私たち日本ブラインドマラソン協会のたゆまぬ活動が実を結んだ結果といえましょう。40周年感謝の集いには、創立当初から協会活動にご参加いただいた方々も参加され、当時の苦労話をお聞きすることができました。40周年を節目とし、新たな一歩を踏み出すためには、新しい力が必要となります。協会活動にご協力いただける方のお声かけをお待ちしています。

会報149号では、「創立40周年感謝の集い」の様子や大会開催事業及び研修事業他の各種活動についてご紹介しました。ご参加いただいた皆さま、支えていただいた皆さまに心より感謝を申しあげます。

また、伴走研修会については、山田昇記念財団様の全面的なご協力をいただきました。来年度の開催について、ご希望やご相談がございましたら、事務局までご連絡ください。

今年が、皆さまにとって、飛躍の年となることを祈念いたします。

- 8月25日 北海道マラソン2024
- 9月予定 伴走者・視覚障がい者研修(会場未定)
- 9月28・29日 ジャパンパラ陸上競技大会(香川県高松市)
- 11月予定 第27回全国視覚障がい者駅伝大会(長居)
- 11月23日 福知山マラソン
- 11・12月予定 第42回JBMAユニファイドラン(国立競技場予定)
- 12月予定 防府読売マラソン(防府)

※以上の日程はすべて予定です。